



発刊日：令和2年2月

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター

協同で発行しています！

今号では新しく始まった「もの忘れ検診」についてご紹介します。

●● もの忘れ検診がはじまりました ●●

名古屋市では、令和2年1月から、認知症を早期に発見して適切な治療につなげることや、予防のきっかけとすることを目的としたもの忘れ検診を実施しておりますので、ご紹介します。

認知症は
早期発見・早期対応が
大事です

- 対象者 65歳以上（受診する年度に65歳になる方を含む）で認知症と診断されていない市民
- 実施機関 市内の協力医療機関
- 自己負担 無料
- 受診回数 年度に1回
- 検診内容 問診による認知機能検査

※この検診は、認知機能の低下について、簡易的に検査するものであり、認知症の診断を行うものではありません。

■受診方法

- ① 予 約 協力医療機関で予約を取ります。
※お住まいの区以外の協力医療機関でも受診できます。
- ② 受 診 予約した日時に、保険証などの住所、生年月日がわかるものを持参して受診します。
- ③ 結果通知 受診した協力医療機関で結果や説明を受けます。
検診の結果、認知機能の低下がみとめられる場合などは精密検査の受診をご案内します。
※精密検査は保険診療となり、医療費の自己負担がかかります。



検診を実施する協力医療機関や精密検査を実施している医療機関は市公式ウェブサイトをご覧ください。

名古屋市 もの忘れ検診

検 索



●● 市民のお問い合わせ先 ●●

年中無休

朝8時から夜9時まで

名古屋おしえてダイヤル 052-953-7584

よくある質問は
こちらから →



名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課

☎ 052-972-2549

問合先及び認知症に関する相談窓口

なごや認知症あんしんナビ

検索

名古屋市の認知症の
情報はウェブサイト
をご覧ください

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-919-6633

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎052-551-2802

◆まつかけシニアホスピタル ☎052-352-4165

◆もりやま総合心療病院 ☎052-795-3560

最近、「疾患別ケア」という言葉をよく聞く。「他院でアルツハイマー病の疑いと言われたが、確定診断をして欲しい」と希望する人たちには、長々と臨床診断の限界を説明するが、なかなか理解して頂けなくて難渋することになる。アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、脳血管性認知症、前頭側頭型認知症など、それぞれに病理的背景や臨床的な特徴は異なるから、それぞれにあったケアを提供するためには、確定診断が必要ということだろう。しかし、高齢者の認知症であれば、複数の病理を合併しているのが通常で、単一の病理のみを有しているほうがまれであることが知られており、さらに、最新の画像診断を駆使しても、臨床的に抽出不可能な脳の病理変化もあるのが現実である。

今、専門家と言われている人達も、結局は今、主な症状、所見を示している疾患名を仮につけているだけであって、将来にわたって、その診断の通り、進行していくとは限らない。今は、アルツハイマー病の病理が優位で臨床症状もそれを反映するものであれば、アルツハイマー型認知症と診断されるが、実は合併していた、レビー小体型認知症の病理がのちに、優位になり、臨床症状に反映されれば、臨床病名もレビー小体型認知症に変わることはありうる。これは、誤診とは全く異なるレベルの話である。さらに、一人ひとりその病理の重複の度合いは異なるはずで、何年後に、そのうちのどの病理が優位になるかは誰にもわからないだろう。各種疾患の特徴を勉強することはよいことだが、実際には、様々に重なり合っていることを正しく理解し、一人ひとりの臨床特徴に留意して、ケアをすべきだろう。

さらに言えば、医学では、疾患自体から派生する症状、病態を明らかにしようとしているが、実際の環境では、私たちの振る舞いや、言動、体調など複雑な要因が絡んでいる。基本的な知識を習得したうえで、日々の生活を支えてほしい。

名古屋市認知症相談支援センターが開催した「本人ミーティング」の声を一部紹介します。本人ミーティングとは、本人だからこそその気づきや意見を本人同士で語り合い、それらを施策に反映し、また地域に伝えていくための集まりです。

- ・「認知症がどんなものかわからん。聞いてもすぐ忘れる。外へ行く時も携帯忘れた、何やら忘れた、で2～3回出たり入ったりするよ。」（笑い）
- ・「これではいけないと思うようになって、地域の方とのコミュニケーションを今一生懸命やってます。」
- ・「なんかあるんだけど頭が全然知らないような感じになる。ちゃんと消えてるといふか。だからノートに書く。出来事や人の名前や場所とか。」



～認知症関係の行事予定～詳細、申込方法等は問合先までお問合せください



◆2月21日（金）13:30～15:30

北区「北区認知症講演会」

第一部「徘徊 ママリン 87歳の夏」の上映

第二部 ママリンの娘で介護者の酒井章子氏と愛知学院
大学学生の対談形式の講演会

定員：350名 どなたでもご参加できます。参加費無料

場所：愛知学院大学名城公園キャンパス

キャッスルホール明倫

問合先 北保健センター ☎ 052-917-6554

認知症相談支援センター facebook では認知症イベント情報を掲載しています。ぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/ninchishou.soudan>

◆4月4日（土）13:00～16:00

「～認知症と共にしあわせに生きる～」

・認知症と共にしあわせに生きる 講師：水野 裕

（まつかげシニアホスピタル認知症疾患医療センター長・副院長）

・重度認知症デイケア 小山のおうちをはじめたわけ（仮題）

講師：高橋幸男氏（医療法人エスポール出雲クリニック理事長・院長）

定員：170名 どなたでもご参加できます。『要予約＊電話申込』

場所：ウィンクあいち9階901研修室

参加費無料

問合先（申込先）：まつかげシニアホスピタル地域医療連携室

☎：052-352-4165